

R6大学所見は、(1)~(4)で解説

(1) 配置図の注意点



(2) 要求室の注意点



(3) 特記事項等の注意点



(4) 法適合の注意点

建築資格研究会: www.kenchiku-shikaku.net

皆さま、本日はお疲れさまでした。

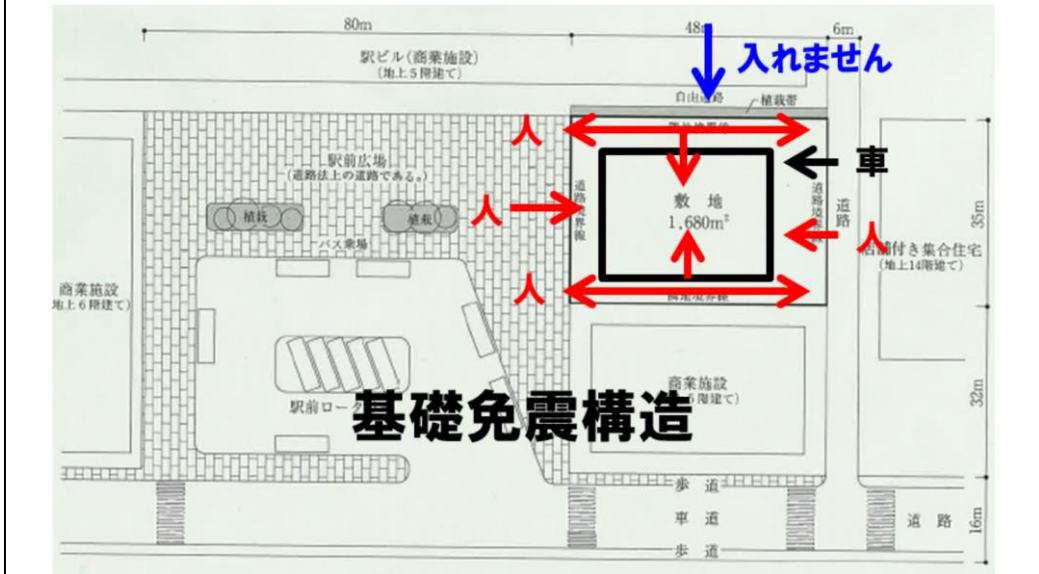
R6大学の試験の所見を配置図、要求室、特記事項、法適合の観点から列記します。

なお、明日は、参考解答図が出来次第アップします。

研究会のHP「無料講座」でも見れるようにしますので、自分の図面と見比べて下さい。

(1) 配置図

配置図の特徴は次の通り



(1) 配置図の特徴は、次の通りです。

北側は、「植栽帯」があり、人が入れません。

車(車椅子使用者用1台)は、東側からとなります。

人は、主出入口は、駅前広場からとなります。

敷地内に東西の敷地通路を計画して、南北から入るでも可です。

なお、基礎免震構造が出題されました。

(2) 要求室

要求室の特徴は次の通り

- ① 要求室は**室名のみ**（階数指定なし）
- ② 研究室18室から**基準階3～5階**妥当
- ③ 製図室の天井高さ3mから**階高4.5m**
- ④ 講堂は300席（**450～550㎡**）
- ⑤ **ゴミ保管庫**（**1階と基準階に設置**）

(2) 要求室の特徴は、次の通りです。

- ① 要求室は、昨年と同様な室名のみです（階数指定はありません）。
- ② 研究室が18室から基準階は、3階～5階が妥当です。
- ③ 製図室の天井高さ3mから、基準階の階高は、4.5が妥当です。
- ④ 講堂は、300席により450㎡～550㎡が必要です。
- ⑤ ゴミ保管庫は、1階と基準階に設置しないと一発不合格です。

(3) 特記事項等

特記事項の注意点 ⇒書き忘れは不合格

- ① 特記事項は全て書かないと不合格
- ② 講堂の**控室**、事務室の**受付**
- ③ 図書室の**書架**と**閲覧席**
- ④ 免震エキスパンションジョイント**位置**
- ⑤ 基準階の**塔屋部分**の位置（破線）

(3) 特記事項の注意点は、次の通りです。

- ① 特記事項は、全て書かないと不合格と判断します。
- ② 講堂の控室、事務室の受付。
- ③ 図書室の書架と閲覧席。
- ④ 免震エキスパンションジョイント位置。
- ⑤ 基準階の塔屋部分の位置（破線）。

(4) 法適合

次の法適合違反は一発不合格

- ① 延焼ラインは南北と東（開口部に**防**）
- ② 階段・EVに**特**（階段内の扉含む）
- ③ 2方向避難（**2階と基準階**）
- ④ 道路斜線（**最小後退距離・計算式**）
- ⑤ 敷地内の避難上必要な通路**経路・幅**

(4)法適合の注意点は、次の通りです。

- ① 延焼ラインは、南北の隣地境界線からと、東の道路中心線からとなり、その内部の開口部には、「防」が必要です。
- ② 階段・EVには、「特」が必要です(階段内の扉を含む)。
- ③ 2方向避難は、2階と基準階に書きます。
- ④ 道路斜線は、最小後退距離、計算式を書きます。
- ⑤ 敷地内の避難上必要な通路は、その経路と幅を書きます。

上記の法適合違反は、一発不合格と推定します。

以上で、R6大学に試験(所見)の解説を終了します。

明日は、試験の参考図が出来次第ユーチューブをアップします。

なお、HPでは、どなたでも見れる「無料講座」にて図面をアップします。